

第3回多治見市かわまちづくり協議会を開催しました

- 令和3年11月2日(火)に、土岐川記念橋上流部の河川空間とまちづくりを一体的に活性化する取り組みを推進するため、第3回多治見市かわまちづくり協議会を開催しました。
- 当日は、ニーズ把握調査（WEBアンケート）結果、土岐川の利活用に関する現状と課題、かわまちづくりで目指す目標（コンセプト）、整備メニュー等について意見交換をしました。
- 委員からは、まちづくりと連携した多目的広場の利活用方策や、整備後の維持管理、安全管理等について意見が出されました。

- ・ 日程 : 令和3年11月2日(火) 10:00~11:40
- ・ 場所 : 多治見市産業文化センター
5階大ホール
- ・ 内容 : ①新委員の紹介
②ニーズ把握調査結果報告
③土岐川の利活用に関する現状と課題
④目標と整備メニュー(案)
- ・ 出席者 : 協議会委員12名
- ・ 事務局 : 多治見市役所 道路河川課
庄内川河川事務所 調査課



協議会の様子



かわまちづくり協議会委員長の挨拶



事務局の挨拶、資料説明

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、マスク着用、消毒、及び座席間を広く空け、仕切りを設置する等の対策を行いました。



○委員からの意見

- ・ 目標(コンセプト)や整備メニューの方向性は良い。
- ・ アンケート結果から、住民の散策等の日常利用が多く、散策路の整備を進めていくのは良い。
- ・ 多目的広場の水際は、洪水のたびに地形が変わることに留意が必要である。高水敷は広くいろいろな視点で利用できると考える。
- ・ 東濃地区では体験学習を積極的に実施しており、川に触れる体験は増えているが、今後も安全な河川利用について教育を進めていく必要がある。
- ・ 土岐川がきれいであることも示していく必要がある。
- ・ 整備後の維持管理が重要である。

など